

2月18日に全国高等学校校長協会家庭部会から真鍋先生に家庭科教員表彰状が届きました。各県から推薦された先生方で全国で37名の方が受賞されたのですが、真鍋先生の家庭科教育及び技術検定の振興への功績に対する表彰です。永年にわたり本校の生活科学科発展に尽力されただけでなく、本県の家庭科教育振興に携わり、家庭科教員への指導を含め、多大な功績をおさめられました。本校としても嬉しい限りです。おめでとうございます。



2月21日には推薦入試、特色選抜入試の合格発表がありました。密を避けるため例年の玄関前を部室棟に変更しました。とても良い天気恵まれ、14時に掲示板を張り出しました。合格証の交付はトレーニングセンターの方でした。例年陸上競技場前の駐車場に車を止めていただくのですが、混雑を避けるために教育研修所にご協力いただき駐車場をお借りました。受検生とご家族は比較的落ち着いた見に来られ、14時40分位には合格証もすべて取りに来られました。無事に合格発表を終えることができました。合格された皆さん、おめでとうございます。4月からの高校生活に向けて各自でしっかりと準備を進めておいてください。また、残念な結果になってしまった受検生の皆さんも次のステージに向けて頑張ってください。また、3月複数志願選抜入試の出願は24日から始まります。本校もその準備に切り替え、令和3年度高校入試を無事終了できるように緊張感を持って臨みます。よろしくお祈りします。

2月22日は、生活科学科3年生がホテル・スイート神戸ハーバーランドで、北播磨の食材を利用した料理をいただきながらテーブルマナーの講習を受けました。緊急事態宣言下ではありましたが、3年生にとっては最後の実習です。ホテル総支配人の檜山氏から経験に基づいた話を交えながらテーブルマナーの説明がありました。「重要なことは相手に不快感を与えないこと」ということに始まり、エチケット(その人の中身)、マナー(多くの人の中で気持ちよく接するためのもの)プロトコール(国際儀礼)があり、それぞれ古くから守られてきたものだそうです。椅子には深く腰掛け、背もたれと背中、テーブルとおなかには握りこぶし一つくらいの隙間をあけるように座ります。また、備え付けのナプキンは半分に折って、おり目を膝側に置き、手前にあるナプキンの裏側を利用して手や口をふいたり、また飲み物を飲むときはナプキンで口を拭いてから飲んだりするなど相手に不快感を与えないように目立たないようにすることがマナーだそうです。基本的に食事が始まれば立ち歩くことはないのですが、トイレ等に行くときはナプキンは椅子の上に置くそうで、テーブルに置くすべて終了の合図ということでした。給仕する側も飲み物は右側から、食べ物を取り分ける時は左側からと決まっています。席を立つときや座るときは面接でも練習したと思いますが、左側と決まっているようで、こういったものは右利きの人が多いことから右利きに合わせて決められているようです。こういったことを学びながら、一流ホテルの食事に生徒たちは舌鼓を打ちました。料理長も出てこれ、メニューの紹介をされましたが、生徒たちも聞きながら随分緊張したことと思います。またこの日は、神戸新聞、サンTVも取材に来ており、サンTVはその日の15時からの放送で紹介され、神戸新聞は翌日の北播版で紹介されました。緊張感のある実習を卒業前にできてよかったです。準備いただいたホテルの関係者の皆様ありがとうございました。



2月22日は、生活科学科3年生がホテル・スイート神戸ハーバーランドで、北播磨の食材を利用した料理をいただきながらテーブルマナーの講習を受けました。緊急事態宣言下ではありましたが、3年生にとっては最後の実習です。ホテル総支配人の檜山氏から経験に基づいた話を交えながらテーブルマナーの説明がありました。「重要なことは相手に不快感を与えないこと」ということに始まり、エチケット(その人の中身)、マナー(多くの人の中で気持ちよく接するためのもの)プロトコール(国際儀礼)があり、それぞれ古くから守られてきたものだそうです。椅子には深く腰掛け、背もたれと背中、テーブルとおなかには握りこぶし一つくらいの隙間をあけるように座ります。また、備え付けのナプキンは半分に折って、おり目を膝側に置き、手前にあるナプキンの裏側を利用して手や口をふいたり、また飲み物を飲むときはナプキンで口を拭いてから飲んだりするなど相手に不快感を与えないように目立たないようにすることがマナーだそうです。基本的に食事が始まれば立ち歩くことはないのですが、トイレ等に行くときはナプキンは椅子の上に置くそうで、テーブルに置くすべて終了の合図ということでした。給仕する側も飲み物は右側から、食べ物を取り分ける時は左側からと決まっています。席を立つときや座るときは面接でも練習したと思いますが、左側と決まっているようで、こういったものは右利きの人が多いことから右利きに合わせて決められているようです。こういったことを学びながら、一流ホテルの食事に生徒たちは舌鼓を打ちました。料理長も出てこれ、メニューの紹介をされましたが、生徒たちも聞きながら随分緊張したことと思います。またこの日は、神戸新聞、サンTVも取材に来ており、サンTVはその日の15時からの放送で紹介され、神戸新聞は翌日の北播版で紹介されました。緊張感のある実習を卒業前にできてよかったです。準備いただいたホテルの関係者の皆様ありがとうございました。



2月22日は、生活科学科3年生がホテル・スイート神戸ハーバーランドで、北播磨の食材を利用した料理をいただきながらテーブルマナーの講習を受けました。緊急事態宣言下ではありましたが、3年生にとっては最後の実習です。ホテル総支配人の檜山氏から経験に基づいた話を交えながらテーブルマナーの説明がありました。「重要なことは相手に不快感を与えないこと」ということに始まり、エチケット(その人の中身)、マナー(多くの人の中で気持ちよく接するためのもの)プロトコール(国際儀礼)があり、それぞれ古くから守られてきたものだそうです。椅子には深く腰掛け、背もたれと背中、テーブルとおなかには握りこぶし一つくらいの隙間をあけるように座ります。また、備え付けのナプキンは半分に折って、おり目を膝側に置き、手前にあるナプキンの裏側を利用して手や口をふいたり、また飲み物を飲むときはナプキンで口を拭いてから飲んだりするなど相手に不快感を与えないように目立たないようにすることがマナーだそうです。基本的に食事が始まれば立ち歩くことはないのですが、トイレ等に行くときはナプキンは椅子の上に置くそうで、テーブルに置くすべて終了の合図ということでした。給仕する側も飲み物は右側から、食べ物を取り分ける時は左側からと決まっています。席を立つときや座るときは面接でも練習したと思いますが、左側と決まっているようで、こういったものは右利きの人が多いことから右利きに合わせて決められているようです。こういったことを学びながら、一流ホテルの食事に生徒たちは舌鼓を打ちました。料理長も出てこれ、メニューの紹介をされましたが、生徒たちも聞きながら随分緊張したことと思います。またこの日は、神戸新聞、サンTVも取材に来ており、サンTVはその日の15時からの放送で紹介され、神戸新聞は翌日の北播版で紹介されました。緊張感のある実習を卒業前にできてよかったです。準備いただいたホテルの関係者の皆様ありがとうございました。



新型コロナウイルス感染防止対策も多くの方々の協力や意識を高めたことにより新規感染者は減少をたどり、緊急事態宣言の解除前倒しも検討されています。しかしながら一気に気を緩めるわけにはいきません。私たちの意識は高めたまま、できることを精一杯取り組む姿勢には変わりはありません。学年末考査を無事終え、卒業式を無事終え、高校入試を無事に終え、みんなで気持ちよく春を迎えることができるよう願っています。

新型コロナウイルス感染防止対策も多くの方々の協力や意識を高めたことにより新規感染者は減少をたどり、緊急事態宣言の解除前倒しも検討されています。しかしながら一気に気を緩めるわけにはいきません。私たちの意識は高めたまま、できることを精一杯取り組む姿勢には変わりはありません。学年末考査を無事終え、卒業式を無事終え、高校入試を無事に終え、みんなで気持ちよく春を迎えることができるよう願っています。